

## 第 1450 回例会報告

平成28年3月3日(木)晴れ

### 会長挨拶

会長 御子柴文夫

### 3回の被爆を体験した国

松沢会員が心筋梗塞を発病し長期の病欠席となっておりますが先日お会いできました。

心臓を取り出して冠動脈を取り替える大手術を乗り越えて徐々にお元気な姿を取り戻されております。

風邪等の感染に気をつけるよう指示されているため多数の集まる会合はもう少し暖かくなってから復帰したいとのことでした。

心配して頂いた皆様に感謝されておられました。皆さん、次回の例会にて実施される健康診断を利用して健康維持に努めましょう。

日々時は過ぎて行きますが語呂あわせ等で記念日となっております。

29日肉の日、3月2日ミニの日、3月3日ひな祭り、3月4日ミシンの日、3月5日珊瑚の日と言われます。

3月1日はビキニの日と呼ばれます。水着のビキニの語源となったビキニ環礁で1954年3月1日に日本のマグロ漁船第5福竜丸が世界で3回目の

被爆をしてしまいました。

ご承知のとおり1回目の広島、2回目の長崎に続いてしまいました。

1979年3月スリーマイル島、1986年4月チェルノブイリ、1999年9月東海村JOCウラン溶液臨界事故と被爆事故は続いておりました。

すばらしいエネルギーである原子力ですが制御することに難しさがあります。

そして2011年3月11日の東日本大震災による東京電力福島原子力発電所のメルトダウン事故が生じました。

大震災時の津波の状況は現実とは思えない惨状でした。5年が経過致しましたが復興の困難さが報道されております。

昨年の発表で震災による死者15,894人、不明者2,562人となっております。死者のうち90.64%は水死者とのことでした。

生活環境変化による自殺者は含まれておりません。

参考に2014年の全国の自殺者数25,427人、交通事故死者数4,113人と発表されております。

東京電力福島原子力発電所事故への対応に政治家答弁含めいろいろな問題が浮上しております。

#### 頃出席報告

|      |       |
|------|-------|
| 会員数  | 38名   |
| 出席対象 | 37名   |
| 出席者数 | 31名   |
| 出席率  | 83.8% |
| 前回修正 | 83.8% |

#### ニコニコBOX

|     |         |
|-----|---------|
| 5名  | 13000円  |
| 累計  | 381000円 |
| 目標額 | 60万円    |
| 達成率 | 63.5%   |

#### 今週のこぼ

三村昌弘先生、本日はよろしくお願ひいたします  
三村昌暉

三村先生本日は10年ぶり。久しぶりにお話を楽しみにしています

萩田均

1940年紀元2600年3月3日日曜日生を受けました。第2次世界大戦も少し経験し、激動の昭和を生きてきました。  
今はこのんびりとヘイセイです  
林洋三

私もやっと66歳になります。年をとることをなげき悲しむのではなく、今の年齢での魅力ある女性としてさらに磨きをかけ、残されて人生を胸を張って生きていこうと思っています。  
北原厚子



東京電力元会長初め3名の強制起訴も始まりました。

何が起ったのか検証し、次の時代に安心して引き継ぐ社会を創るために力を注いで行きましょう。

## ◇幹事報告◇

### 【報告事項】

3月のロータリーレートは、1ドル=116円に変更になりました。

### 【連絡事項】

1) 第21回日本青少年交換研究会・東京会議のご案内が来ています。

2) ロータリー財団と米山奨学会の2016年1月寄付明細が届いています。担当委員会にお渡しします

### 【受領文書】

岡谷エコーロータリー、富士見ロータリーより会報が届いています。回覧します

## 委員会報告

### 【職業奉仕委員会】

来週は恒例の健康診断です。よろしく願いいたします

### 【社会奉仕委員会】

急遽ですが3月13日諏訪湖清掃を行います。詳細は後日お知らせします。だいぶ汚れているようです。

Happy birthday



本月の誕生日は林洋三、北原厚子会員でした

## 第1450回例会

### 外部講師卓話例会

元下諏訪中学校長 三村昌弘様

青少年奉仕委員会

下中在任中に大変お世話になりました三村昌弘先生のお話を聞きました。

一回短めの原稿をいただきましたが、楽しいためになるお話でしたので無理を言って省略なしの長い原稿に書き換えていただきました。熟読ください。

### 「植物の理」

#### ○“子供たちに伝え残せるか？”

昨年6月に車山の肩に立ち寄った時、レンゲツツジが今を盛りと咲いていましたが、霧ヶ峰の強清水に長年住んでいる方のお話では、何十年に一度の咲き方だったそうです。確かに、私も車山湿原や蝶々深山一面に絨毯のようにになっている様子を見るのは、久しぶりでした。



スライドは先生が下中在任中に行った「ブナの森」の中学生との協働作業の様子

しかしこのレンゲツツジは、牛や馬にとっては有毒なため食べ残すので、(ウマツツジ、ベコツツジの別名はこれらの動物に害を与える事から)レンゲツツジの群生地になっている牧場も多いようです。また、花には蜜があり子供が吸ったりすると非常に危険とされています。トルコ産蜂蜜では、中毒の例が報告されたとも聞いています。そのため、日本の養蜂業者はレンゲツツジが自生している所では、蜂蜜を採集しないか開花期を避けるなどしているようです。そのようなこともあって、ニッコウキスゲが大打撃を受けている反面、鹿の食害を

受けることもなく、本年度の咲き方は、素晴らしい景観をつくり出したようです。

集まって咲く花の様子が、レンゲに似ているのでこの名前があるとか、つぼみがレンゲに似ているからレンゲツツジとの説もありますが、高原一面にだいたい色の絨毯のように見える様子は、田んぼにレンゲの花が咲き誇っているように見えます。名前の由来を聞くと、なるほどと思いますが、今の子どもたちには、名前の由来を話しても分かってもらえるのか心配です。私たちが幼い頃見慣れていたレンゲの花咲く田んぼの風景が、今は見られなくなってしまっているからです。

植物の名前の由来を、どう子供たちに繋いでいくのかも、これからの大きな課題としていく必要があると思っています。後に挙げる植物についてもです。

### ○“散り際の美学…”

「散りぬべき 時知りてこそ 世の中の 花も花なれ 人もひとなれ」ご存じ、細川ガラシャ(細川忠興夫人・明智 玉)の辞世の句です。椿の潔い、花の終わりも素晴らしい、その落ちた椿の花を見ながら詠んだとされています。

十数年前、奈良・京都への修学旅行の引率の時、バスガイドさんが、椿の花が形を崩さずそのまま落ちている様子を、「境内の椿は落ちて…」という表現で説明をしたのを思い出します。キーワードを“散り際”として、以下の4種の花で学んでみたいと思います。

サクラは良寛の「散る桜 残る桜も 散る桜」の句のように、『散る』と表現しています。

ウメは、「門口や 先ず愛嬌の こぼれ梅」と一茶も詠んでいるように、『零れる』です。ボタンは、子規の句「銀屏風 崩れんとする 白牡丹」のように『崩れる』、ツバキは、「椿落ちて 昨日の雨を こぼしけり」と蕪村の句に表現されているように『落ちる』です。

アジサイ、バラは、人気のある花で、皆さんも好きな方が沢山おられると思います。でも、花が枯れて、ドライフラワーになってもしがみついています。さて、皆さんは、どの花の、散り際が好みでしょうか？

### ○“いずれ菖蒲か、杜若… このことわざの意味は”

その美しさに甲乙付けがたい、似ていて見分けがつかないものの例えですが、このことわざが生

まれたきっかけとなった事件があります。それは、平安末期までさかのぼります。

平安時代の「太平記」に、源頼政が御所の紫宸殿の上に現れた、「ヌエ」という怪物の退治を命ぜられ、見事退治したとき、時の天皇が褒美にと、菖蒲前(アヤメノマエ)を賜ることになっていたようです。しかし、賜るに当たり、居並ぶ美女12人の中から菖蒲前を選ぶように命じられた時、頼政は、「五月雨に 沢辺のまこも 水たえて いづれあやめと 引きぞわづらふ」(「五月雨が降り続いて、沢辺の水かさが増したため、真薦も水中に隠れてどれが菖蒲かわからず、引き抜くのをためらっている」という心情を歌ったようです。)と、即座に歌で応えたとのこと。この難問に即座に反応したことに天皇が感心して菖蒲前を与えたとのこと。

ことわざにもなった、アヤメ(菖蒲)とカキツバタ(杜若)の見分けは、アヤメの外花被片(ガク)基部に、黄色と紫の虎斑(とらふ:虎の背のように、黄色の地に太く黒いしまのあるもの)が目立つので、区別が付くと思います。

ちなみに、アヤメは、立ち並んでいる葉を美しいあや(文)があると考えてつけられたとされています。カキツバタは、昔、この花を布にこすりつけて染めたので“書きつけ花”といい、なまってカキツバタ。ノハナショウブは、山野に生えているハナショウブの意味で、ハナショウブの原種とされています。

長野県でアヤメを校章に図案化している学校は、岡谷市立田中小学校のみです。諏訪湖のそばで、きっと多くのアヤメが咲いていたのではないかと想像します。来年度、岡谷小学校と統合し、新たに岡谷田中小学校として出発と聞いています。校章はどうなるのでしょうか。

カキツバタを表現したもので、有名なものに、在原業平の詠んだ短歌があります。

『唐衣 着つくなれにし 妻しあれば はるばる 来ぬる 旅をしぞ思ふ』という歌です。東国の方へ、友達と旅に出た。三河の国の八橋(カキツバタの名所だった三河の国の八橋、現在の愛知県知多市)という所に行ったとき、その川のほとりに、カキツバタの花が面白く咲いているのを見て、馬から下りていって、旅の心を詠もうとして詠んだ歌とされています。なぜこの歌が有名なのかといいますが、ひらがなにして句頭を拾ってみますと、

からころも

きつつなれにし

つましあれば

はるばるきぬる

たびをしぞおもふ

“かきつはた”となります。かきつばたという五文字を句のはじめ(句頭)にまずおいて詠んだものです。このようなものを“折句”と言います。昔の人々の、教養の深さを垣間見る思いです。

### ○“ありがたくない名?…”

早春に咲きこぼれるコバルトブルーの花、オオイヌノフグリは皆さんにとってなじみのある植物だと思います。このオオイヌノフグリの学名は、ペロニカ・ペルシカといい、日本語に訳すと、「ペルシヤの聖者」と言うようですが、和名は、皆さんご存知の通り、犬のふぐり(陰囊)といいます。和名が、果実の形に着目しているのに対して、学名は花の美しさに着目しています。しかし、あまりありがたくない名前ではと思いませんか。植物の名前の中には、植物にとっては迷惑な名前のついているものがあります。少し、挙げてみたいと思います。

#### ・『ハキダメギク』

道ばたや田畑の隅、特に掃きだめになっている腐食質に富んだ空き地に見られ、漢字では“掃溜菊”と書きます。晩秋霜がおきるまで咲いています。花の中心は直径 5 mm ぐらい黄色で、まわりには先が三裂した白色の花びらが五枚あり、満天にきらめく星々を連想させてくれますが…

#### ・『ドクダミ』

匂いの強さや、アツという間に庭を占拠してしまうドクダミです。名の由来は、“毒痛み”とされていますが、人によっては、薬草としての効果を認めて“毒矯め”と考える人もいます。

生の葉をもんでも、また蒸しても、腫れものに貼ると吸い出し効果がある。風呂に入れて入浴すれば腰の痛みをとり、煎じた汁は、下剤または駆虫剤、また尿道炎にも昔から使われていたという。若芽、若菜を天ぷら、根茎を味噌漬、味噌和え。熱を加えるとほとんどなくなってしまう。陰地の白十字 薬草として活躍するも…

ちなみに、日本では、花は美しくともやたらはびこり嫌われていますが、西洋では、東洋のエキゾチックな花として庭に植えて鑑賞をしているようです。これを植えたら、はびこって始末に悪いのではと、余計な心配も…

#### ・『ママコノシリヌグイ』

漢字で書けば「継子の尻拭」で、別名トゲソバ(棘蕎麦)といわれています。野原の草の間に生え、茎はつる状で1~2m位伸びます。茎に著しい逆向きのとげがあって、他のものにひっかかるつくりになっています。憎い継子の尻を拭く思いが名前に?…。韓国では、“嫁の尻拭き草”と呼ばれているとのこと。

#### ・『ヘクソカズラ』

漢字で書けば“屁糞蔓”属名のパエデリアも“悪臭”を意味しています。葉や茎を千切って匂いを嗅いでみると屁糞の匂いが…。嗅げば実感します。花びらが白色、中心は紅紫色、その色合いは灸を据えた跡のようなので、灸花(ヤイトバナ)とも言われたようです。実は、生も乾燥したものも薬用。生の実はかなり悪臭ですが、乾燥したものは不思議と臭いが消えるようです。しもやけ、あかぎれに効果が認められています。

万葉集に『かわらふじに 延ひおほとれる 糞葛 絶ゆることなく 宮仕えせむ』という歌がありますが、奈良時代の高宮王(皇族かどうかは不明)という人が詠んだものだそうです。「かわらふじにからみつ く、ヘクソカズラのようにしぶとく(強く、たくましくいつまでも) 宮仕えをしてやるぞ」のような意味だそうです。

ヘクソカズラが、当時糞葛(クソカズラ)と呼ばれていたこと、いろいろな植物の上に絡みついている様子を、的確に表していることに何か面白さを感じています。